

遊びにこだわりのあるBくん



2歳児より入所したBくん。友だちや友だちのしている遊びには興味を示さず、あちらこちらといても動いている。

生活面では周りの様子を見て行動していることが多く、トイレの前までは行くが、排泄せずに戻ったり手を洗わずに座っている。また、友だちが座ると同じように座ったり、外遊びのためにテラスに行くと一緒にテラスに出るなど、周りを見て動いている。ブロック遊びでは特定の色や形にこだわりがあり、赤い色ばかり集めるが持っているだけで満足し、ブロックでの本来の遊び方にならない。電車が好きでいつも電車の玩具を手に持ち、部屋の隅のお気に入りの場所に並べてみたりしている。語彙数が少なく、不明瞭なため、保育士や友だちとのコミュニケーションも難しい。

☆好きな遊びの中で、保育士が「一緒にやね。」「おもしろいね。」など言葉かけしながら、友だちと関わる機会を作っていく、友だちの遊びにも興味を持てるようにしていきます。

☆「特定のおもちゃで遊び、同じ遊び方ばかりする」に印がついているので、遊びが広がる工夫をしながら、その遊び方の見本を示します。

☆Bくんが楽しんでいる遊びに共感し発語を受け止めながら、語彙が広がるように意識した言葉のやりとりをしましょう。

☆複数担任間では、こどもに同じ対応ができるように常に話し合いを持ち、こどもの姿や家庭の状況等、情報を共有し意思一致することが大切です。

保育士の気づき（気になる姿）

- 特定の色や形にこだわっている、電車の玩具をいくつも手に持っている。
- 電車を一列に並べているところに友だちが来て列が崩れると、泣き叫びながら元に戻そうとする。
- 遊びの中では友だちに興味を示さないが、生活面では友だちが移動したりするのをよく見えて、一緒にについていく姿が見られる。しかし、全体の指示や生活の流れが理解できていない。

保育の中で工夫したこと（手立て）

- ◇保育士との安定した関係を作るため、特定の保育士と一緒に遊ぶようにする。生活の場面では個別に声をかけ、友だちの行動と結びつける。
- ◇好きな遊びをしている時に保育士が寄り添い、見本となる遊びを楽しみ遊び方を知らせていく。また、一定興味が向いてきたら保育士が仲立ちとなっていて、同じ遊びをしている友だちがいることを知らせていく。
- ◇興味を持って遊んでいる時に、語彙が広がるようにはっきりと言葉かけたり、意識して言葉のやりとりをする。
- ◇お気に入りの場所、板を斜めにして坂を作る・どの電車が長く走るか比べる・電車の写真を撮ってカードにし絵合わせをする、など遊びを広げる。

こどもの反応・変化

保育士との信頼関係が少しずつできてきて、生活面では1対1で保育士がゆっくりと次の活動を話すと、理解して行動しようとしている。

電車遊びでは、平行遊びではあるが保育士がそばで見守っていると、一緒に遊ぶことは嫌がらなくなってきた。また、箱の中に電車を並べたり、違う電車と入れ替えてみるなど、自分で遊びを発展させて楽しむ姿もあり、楽しさを自分なりの言葉で伝えようとするようになる。

友だちとのトラブルは泣いて訴えるが、保育士が気持ち代弁すると落ちつき、切り替えられるようになる。

乳児期における『気になる子ども』に関する気づきの観察事項 (チェックリスト)

2 歳児 名前 B 年 月 日

	項目	チェック欄
生活面	▪ 生活習慣全般において、積み重ねることが難しい。	○
	▪ 好き嫌いが多い。(食べられるものが少ない、食感覚、色が嫌など)	
	▪ トイレを嫌がる、怖がる。	
	▪ トイレの水や水道の水をよく流す。	
	▪ 気に入った服ばかり着る。	
	▪ ちよっとした汚れが我慢できず、着替える。	
	▪ 布団に入ることには抵抗を示す。(抱かれていないと眠らない)	
	▪ 睡眠のリズムがつかみにくい。	
	▪ 汚れた時、ふいてももらったり、洗ってもらったりすることを嫌がる。	
	▪ 抱っこやおんぶで自然に身をゆだねられない。(抱っこを嫌がる)	
運動	▪ ハイハイにならない。(親指でけられない、いつまでもずりばいになる等)	
	▪ かかとをつけずにつまずいて歩く。	
	▪ 歩き方や身体の動きがぎこちない。 (バランスよく動かせない、階段の上り下り等)	
	▪ 両足跳びができない。	
	▪ よく転ぶ。	
	▪ 手先の動きが不器用である。(積み木を積む、絵本のページをめくる等)	
	▪ 粘土やのり等の触感を嫌がる。	
	▪ 音など外からの刺激に対して敏感に反応し、注意が散漫になる。	
	▪ 物を一列に並べたり、積んだりして遊ぶ。	
	▪ 特定のおもちゃで遊び、同じ遊びばかりする。	○
遊び	▪ 本来のおもちゃの扱いをしない、遊ばない。(物を何でも回す、並べる等)	○
	▪ サインペン、クレパス等でぐるぐる丸を描けない。(筆圧が弱い)	
	▪ ことばや動作のまねをしない。	○
	▪ 人より物に興味を示す。(光る物、回る物、鏡等)	

認知・言語面	行動・社会性・コミュニケーション
▪ 物を渡してお願い (例えば、絵本を持ってきて読んでほしいことを示す等) をすることができない。	▪ 落ち着きがない。(常に体のどこかが動いている、椅子に座ることが難しい等)
▪ 指差しをしない。	▪ 何もなくても、甲高い声や大声を発する。
▪ 意味のあることばをしゃべらない。	▪ 周囲に関心を示さない。
▪ エコラリア (オウム返し) がある。	▪ 表情が乏しい。
▪ 場に合わないことばやコマースヤルのフレーズを言うことが多い。	▪ 困った時など、状況にすぐわかない言動でその場を逃れる。
▪ ことばが増えず、語彙が少ない。	▪ 大人 (母・保育士) への愛着が強すぎる。(弱すぎる)
▪ 発音が不明瞭で聞き取りにくい。	▪ 手をつなぐのを嫌がる。
▪ 単語が中心で 2~3 語文で話せない。	▪ 特定のものにこだわる。
▪ 指示の意味がわからない。(ことばの理解が悪いように感じる。)	▪ 気持ちの切り替えが難しい。(何をしても泣きやまない)
▪ 呼びかけに反応しない。	▪ 友だちへの興味、関心が乏しく、一人遊びの方が多。
▪ 視線が合わない。	
▪ 初めてのことや、初めての場面を嫌がる。	
▪ 落ち着きがない。(常に体のどこかが動いている、椅子に座ることが難しい等)	
▪ 何もなくても、甲高い声や大声を発する。	
▪ 周囲に関心を示さない。	
▪ 表情が乏しい。	
▪ 困った時など、状況にすぐわかない言動でその場を逃れる。	
▪ 大人 (母・保育士) への愛着が強すぎる。(弱すぎる)	
▪ 手をつなぐのを嫌がる。	
▪ 特定のものにこだわる。	○
▪ 気持ちの切り替えが難しい。(何をしても泣きやまない)	
▪ 友だちへの興味、関心が乏しく、一人遊びの方が多。	○